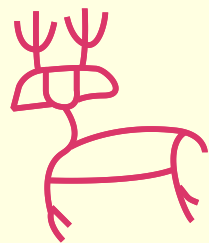


令和5年度岡山県
獣害対策のための集落アンケート

集計結果概要



エーマック
合同会社AMAC

浅田正彦

アンケートの目的



害獣の生息状況や被害状況などの
獣害対策に関する地域特性を明らか
かにして、今後の対策の基礎資料と
する

1 集落 1 枚アンケート用紙を配布・回収

岡山県 獣害対策のための集落アンケート調査（令和5(2023)年度）

記入者氏名		住所 岡山県		市・町・村		5年夏 調査		主な被害作物名		人的被害・生活被害 (農林業被害以外)		実施した被害対策と効果(過去1年間、令和4年 秋～令和5年 夏) 防護網についてはこれまでに設置したものを含みます	
記入例は別紙にあります													
集落での活動について													
集落で行っている活動（複数選択可） ☐ 道路の草刈り・集会所やお宮の草刈り・除草 ☐ 多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払交付金事業 ☐ 集落官農													
集落ぐるみでの獣害対策 ↳ ☐ している 対策内容（複数選択可） ☐ 集落での話し合い（集落点検・環境診断など） ☐ 集落柵の設置 ☐ 集落で協力した捕獲													
↳ ☐ していない 理由 ☐ 被害がない ☐ 個人で実施しているから ☐ 人手不足 ☐ 高齢化 ☐ 狩猟者がいない ☐ その他（自由記述）													
対象動物		集落での目撃回数		動物の増減									
イノシシ						5年夏 (上)		☐ 水稲 ☐ 畑作物 ☐ 果樹 ☐ ソイタ・サトウ ☐ その他		☐ ない ☐ ある 内容：		☐ 何もしなかった ☐ 捕獲（→効果があつた・なかった・不明） ☐ 電気柵（→効果があつた・なかった・不明） ☐ 金網柵・ワイヤーメッシュ（→効果があつた・なかった・不明） ☐ 耕作放棄地などの管理・誘引物除去 （→効果があつた・なかった・不明）	
☐ 1頭はいる ☐ ウリボウ（汗流）がいる ☐ いらない（→右は記入不要）		☐ 森にいたため、見かけない ☐ 季節的に見かけるときがある ☐ 毎年、週1回程度 ☐ 毎年、週2〜3回程度 ☐ 毎年、ほぼ毎日		☐ 前年との比較 ☐ 増えた ☐ 変わらない ☐ 減った ☐ わからない									
ニホンジカ						5年夏 (上)		☐ 水稲 ☐ 畑作物 ☐ 果樹 ☐ ソイタ・サトウ ☐ その他		☐ ない ☐ ある 内容：		☐ 何もしなかった ☐ 捕獲（→効果があつた・なかった・不明） ☐ 電気柵（→効果があつた・なかった・不明） ☐ 金網柵・ワイヤーメッシュ（→効果があつた・なかった・不明） ☐ 耕作放棄地などの管理・誘引物除去 （→効果があつた・なかった・不明）	
☐ 角あり（オス）がいる ☐ 子連れがいる ☐ いらない（→右は記入不要）		☐ 森にいたため、見かけない ☐ 季節的に見かけるときがある ☐ 毎年、週1回程度 ☐ 毎年、週2〜3回程度 ☐ 毎年、ほぼ毎日		☐ 前年との比較 ☐ 増えた ☐ 変わらない ☐ 減った ☐ わからない									
ニホンザル						5年夏 (上)		☐ 水稲 ☐ 畑作物 ☐ 果樹 ☐ ソイタ・サトウ ☐ その他		☐ ない ☐ ある 内容：		☐ 何もしなかった ☐ 人による追い払い（→効果があつた・なかった・不明） ☐ 捕獲（→効果があつた・なかった・不明） ☐ 電気柵（→効果があつた・なかった・不明） ☐ 金網柵・ワイヤーメッシュ（→効果があつた・なかった・不明） ☐ 周辺の樹木の伐採、足場となる木材等の撤去 （→効果があつた・なかった・不明） ☐ 誘引物除去（→効果があつた・なかった・不明）	
☐ 1〜数頭のハナレザルがいる ☐ 子を連れた群れがいる ☐ いらない（→右は記入不要）		☐ 森にいたため、見かけない ☐ 季節的に見かけるときがある ☐ 毎年、週1回程度 ☐ 毎年、週2〜3回程度 ☐ 毎年、ほぼ毎日		☐ 前年との比較 ☐ 増えた ☐ 変わらない ☐ 減った ☐ わからない									
ヌートリア						5年夏 (上)		☐ 水稲 ☐ 畑作物 ☐ 果樹 ☐ ソイタ・サトウ ☐ その他		☐ ない ☐ ある 内容：		☐ 何もしなかった ☐ 捕獲（→効果があつた・なかった・不明） ☐ 電気柵（→効果があつた・なかった・不明） ☐ 金網柵・ワイヤーメッシュ（→効果があつた・なかった・不明） ☐ 耕作放棄地などの管理・誘引物除去 （→効果があつた・なかった・不明）	
☐ いる ☐ いらない（→右は記入不要）		☐ 川にいたため、見かけない ☐ 季節的に見かけるときがある ☐ 毎年、週1回程度 ☐ 毎年、週2〜3回程度 ☐ 毎年、ほぼ毎日		☐ 前年との比較 ☐ 増えた ☐ 変わらない ☐ 減った ☐ わからない									

裏面にも質問があります

回収結果

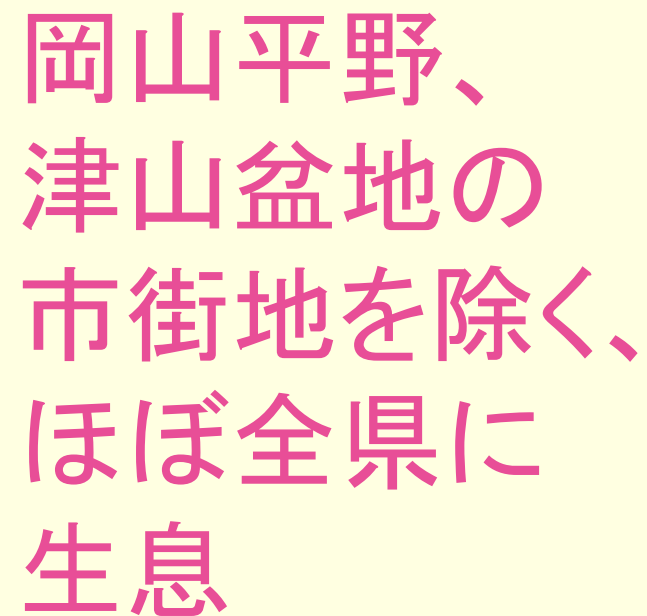


配布数	4,767集落	カッコ内は昨年度値 (4,762集落)
有効回収数	3,199集落	(3,272集落)
有効回収率	67.1 %	(68.7 %)

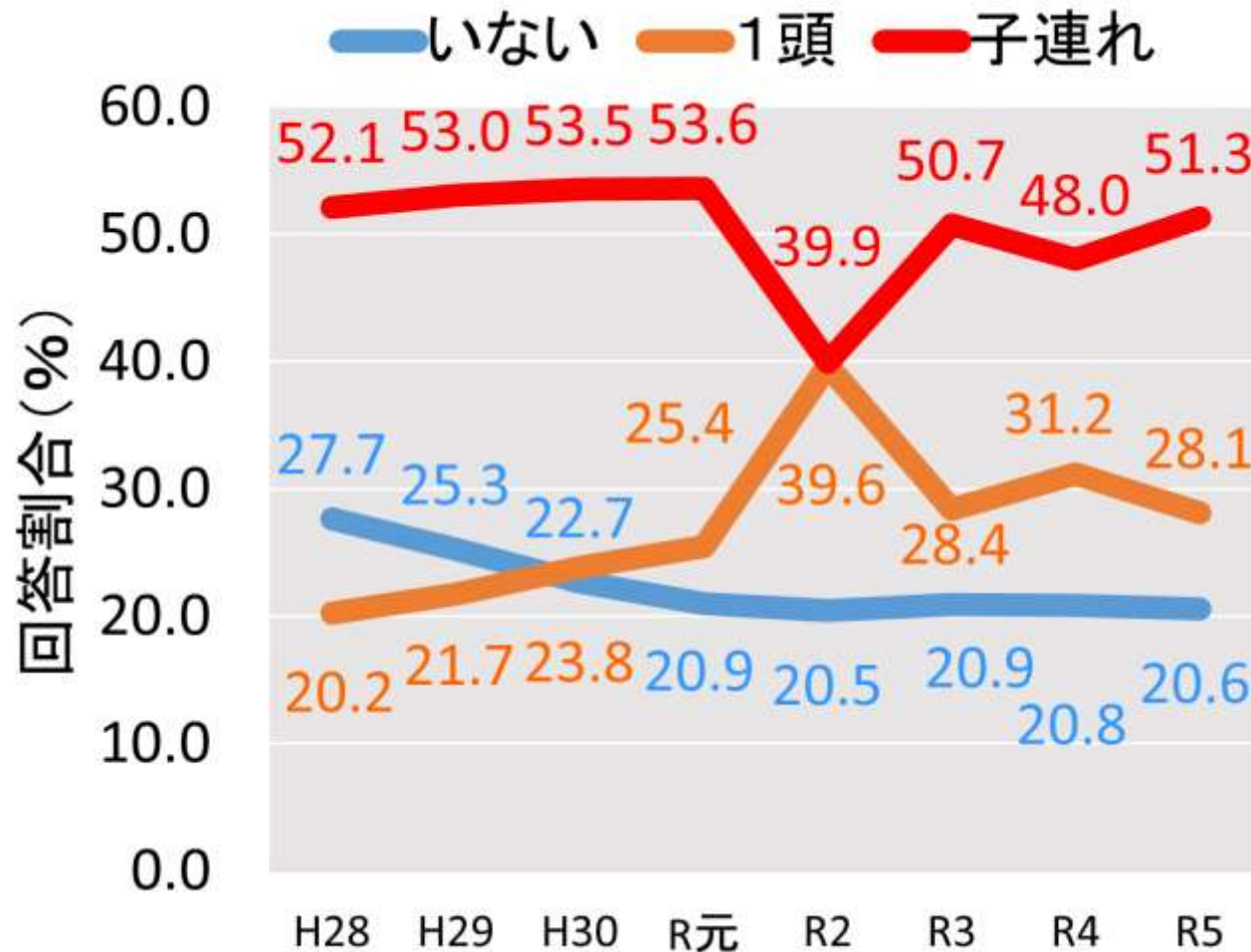


イ ノ シ シ





イノシシの生息状況 年推移

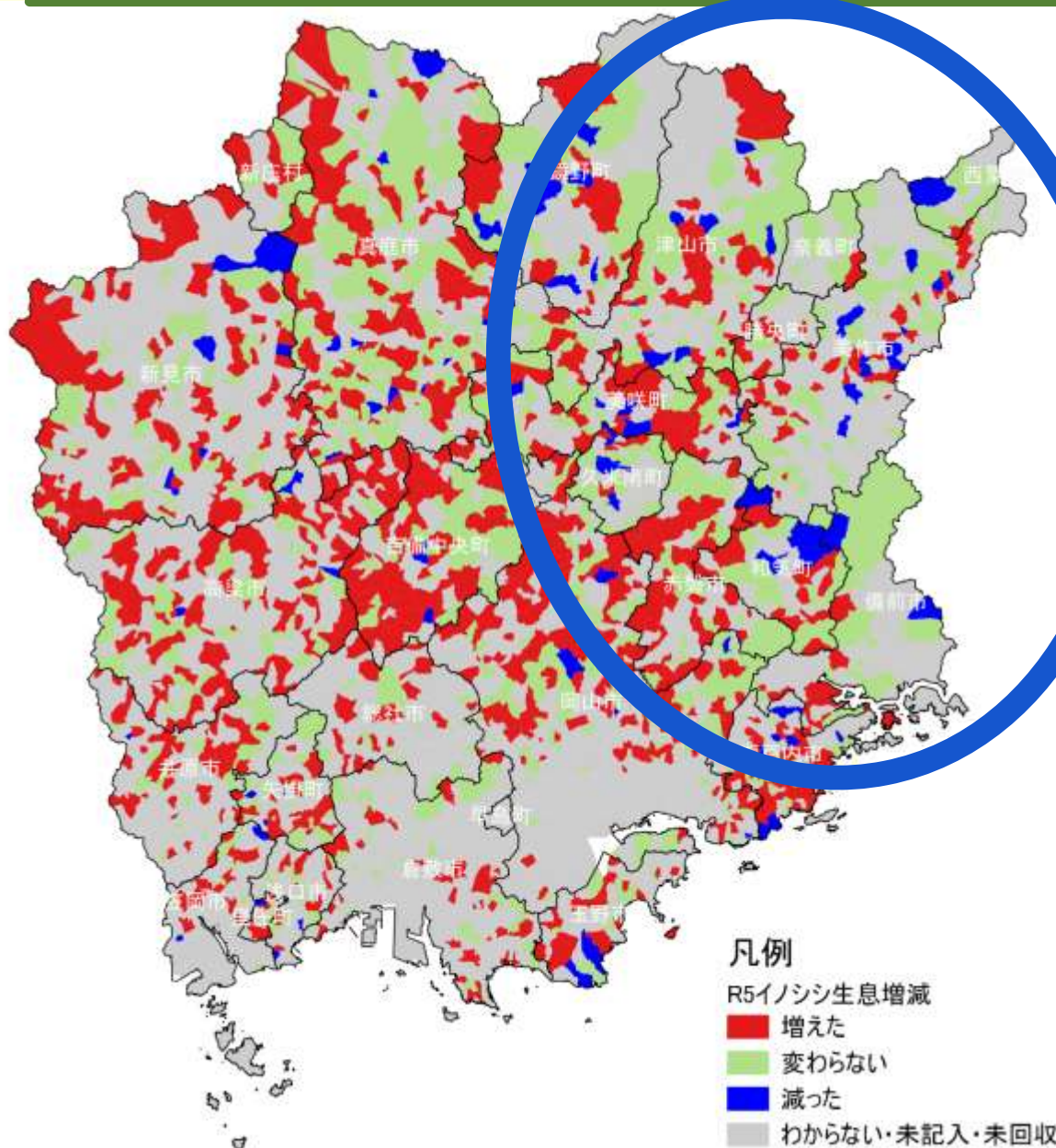


「子連れ」生息集
落の割合

H28～R元年度
と比べて低い

R2年度～
増加傾向

イノシシの生息状況の増減

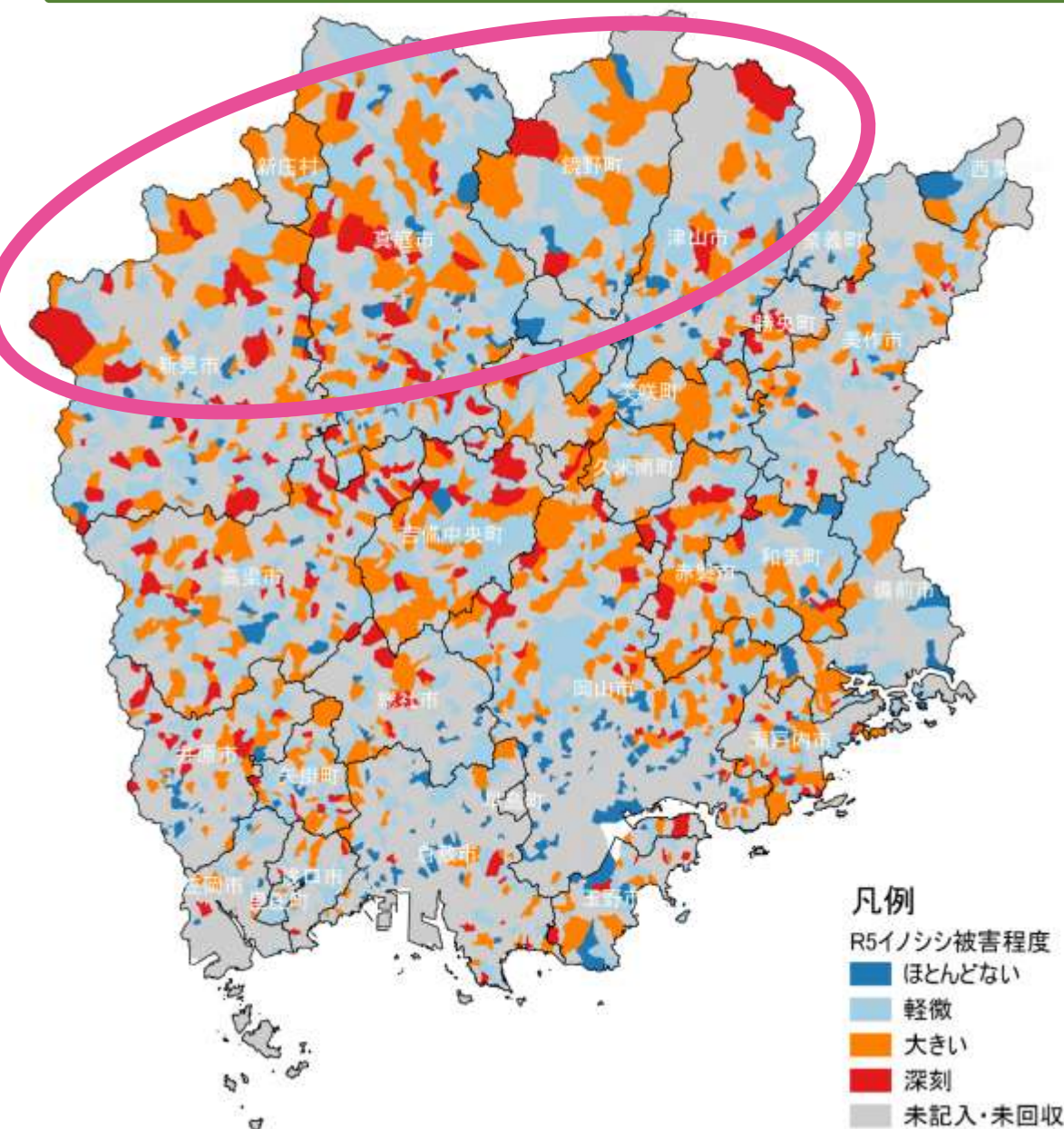


県全体「増えた」の
回答が多い

県中部～東部地域
生息「減った」回答
が点在

個体数が減少して
いると推定

イノシシの被害レベル

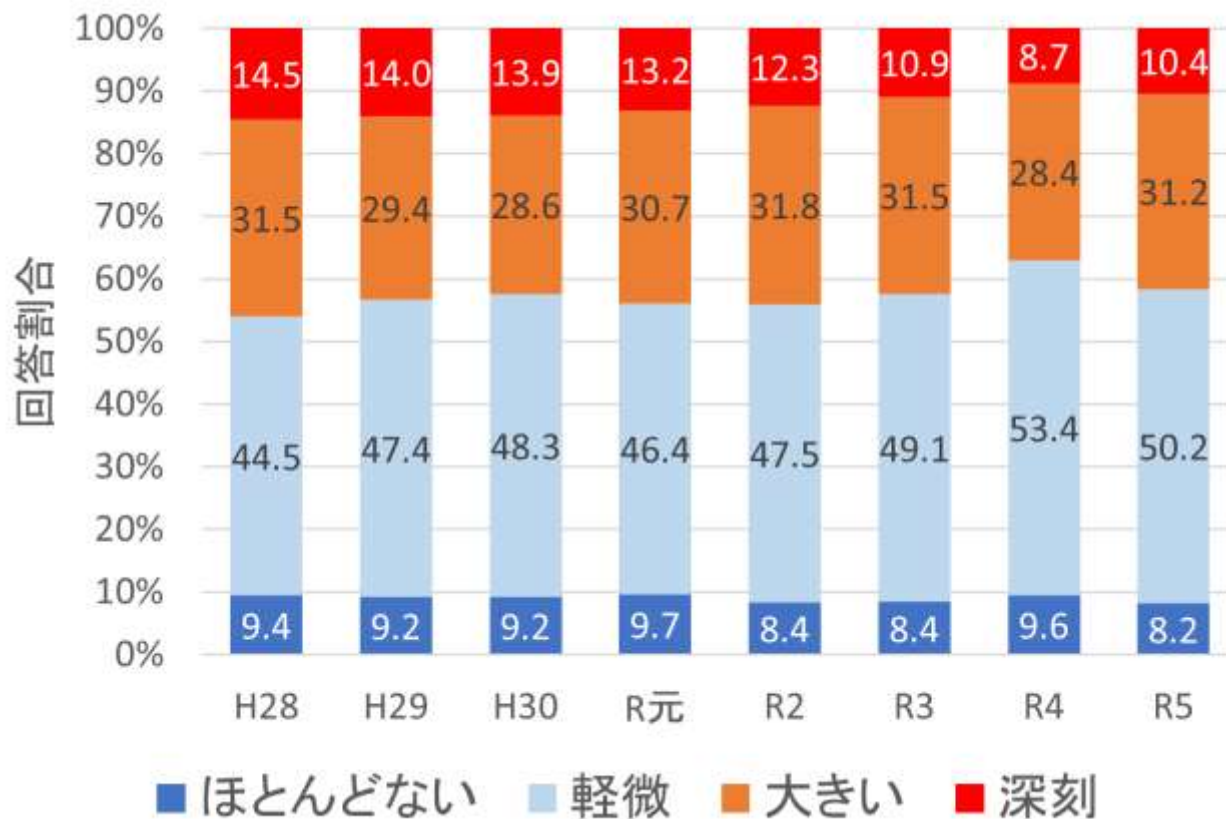


平野部を除くほ
ぼ県全域で被害
が発生

特に県北部
面的に被害が
甚大化

※ 甚大化：
被害が「大きい」もしくは「深
刻」と回答

イノシシの被害レベル年推移



被害甚大化集落は41.6% (948/2,279件)

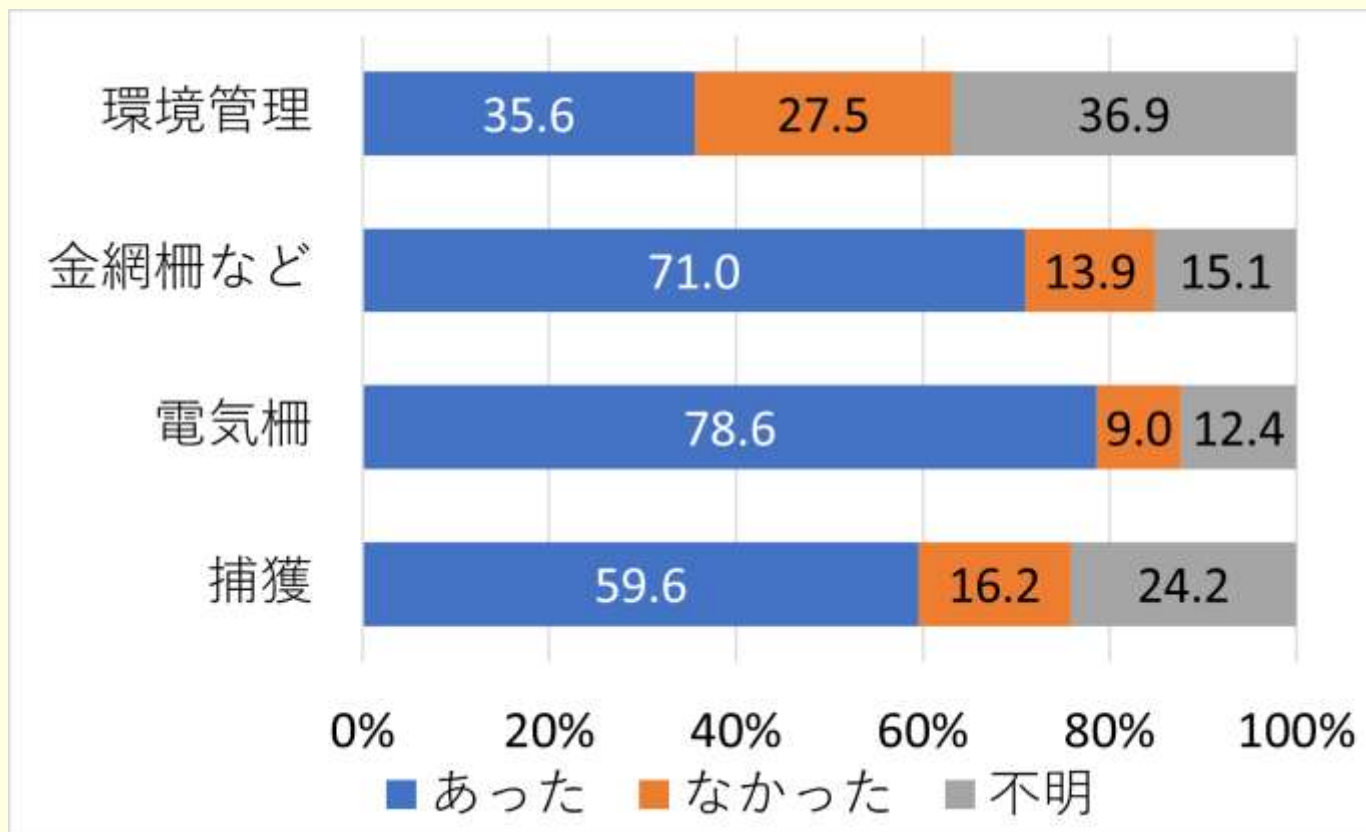
被害はH28年度～ 徐々に減少傾向

いまだ生息集落の4割強に甚大な被害が発生

イノシシの対策効果



対策効果割合：繁殖定着している集落（「ウリボウ」の生息集落）において、対策効果に記載があった回答における効果が「あった」割合

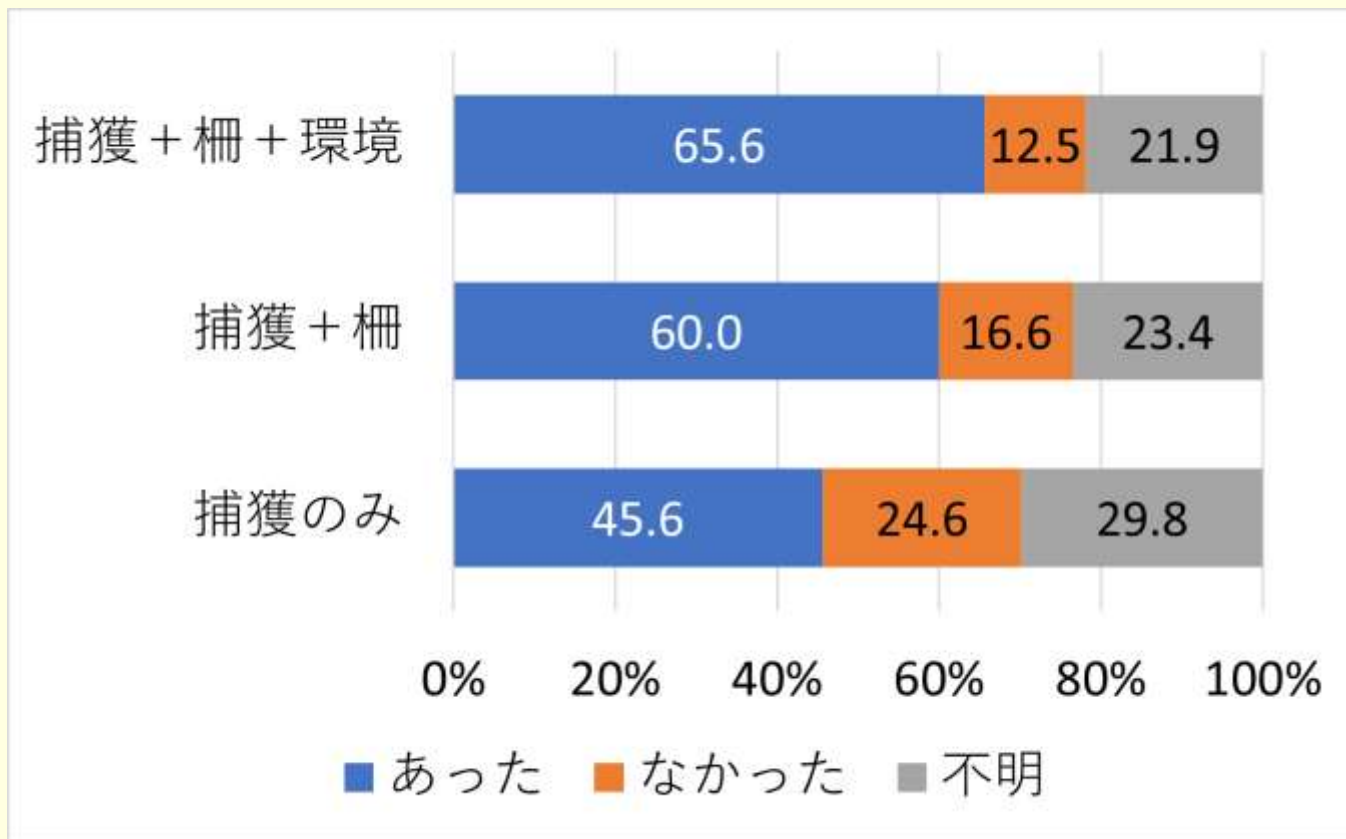


対策効果：防護柵は7割強、
捕獲は6割弱が有効

イノシシの対策 複合効果



定着している集落のうち、捕獲を実施している集落で、防護柵（電気・金網）や耕作放棄地管理の実施状況別にみた捕獲効果が「あった」回答割合



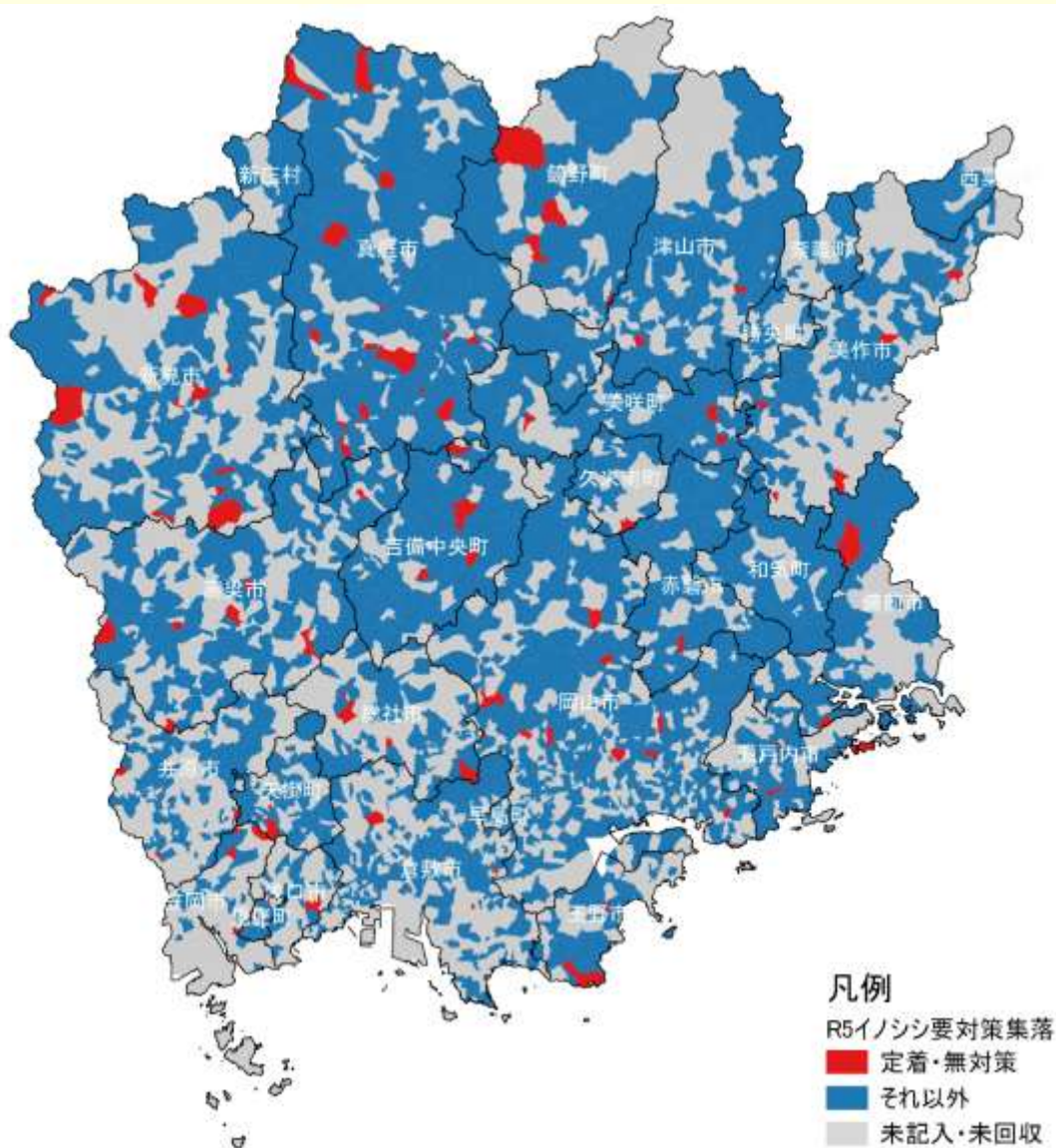
対策効果の有効性

捕獲 + 防護柵・環境整備 > 捕獲のみ

イノシシ要対策集落



定着しているにもかかわらず、対策をしていない集落



定着集落の7.6%

R4年度(6.2%)
より増加

シカ

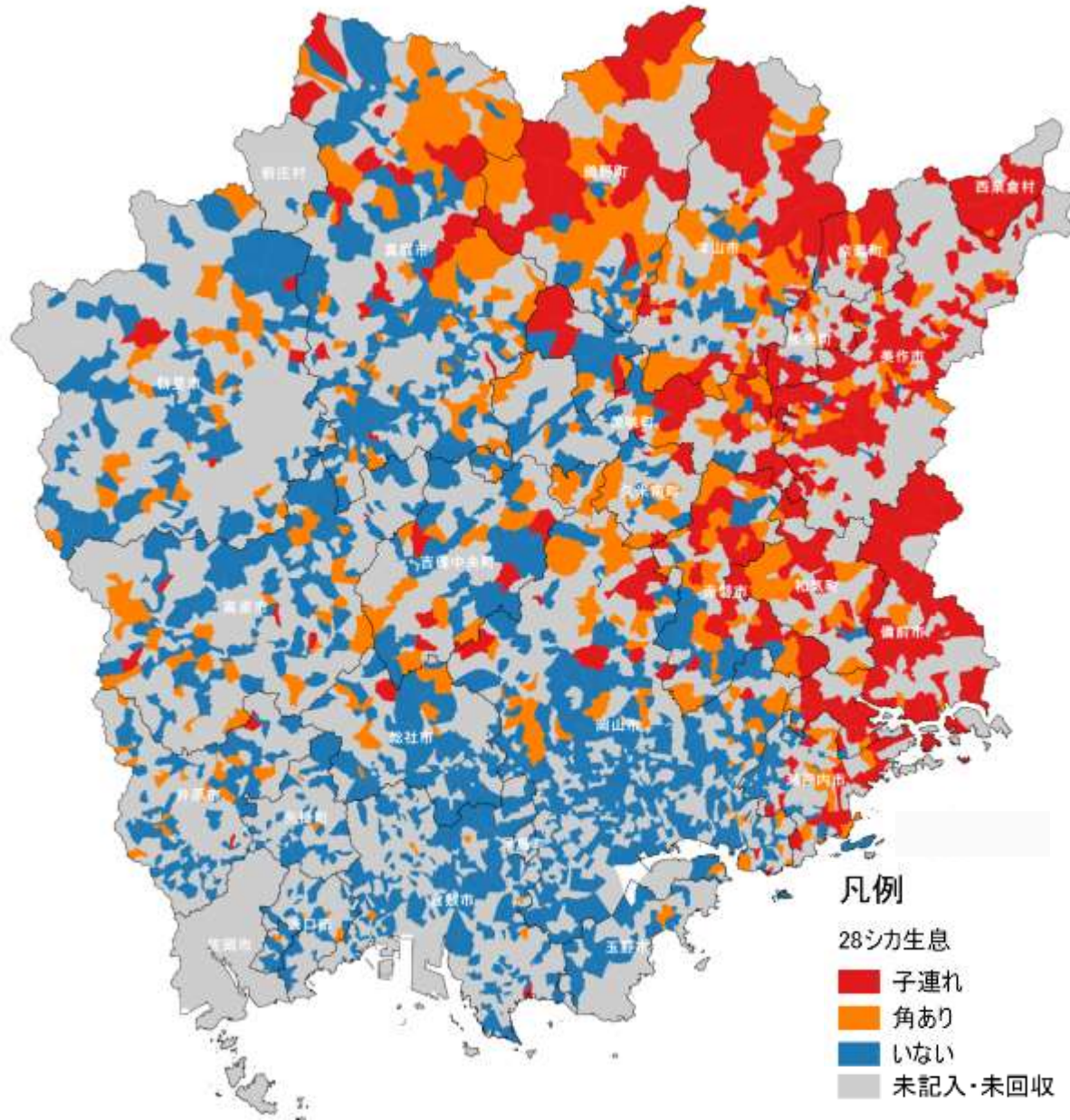




☒ 女子 繁殖定着

県東部

シカの生息状況(H28年度)



H28→R5

生息地が拡大

県西部

瀬戸内市・岡山市

凡例

28シカ生息

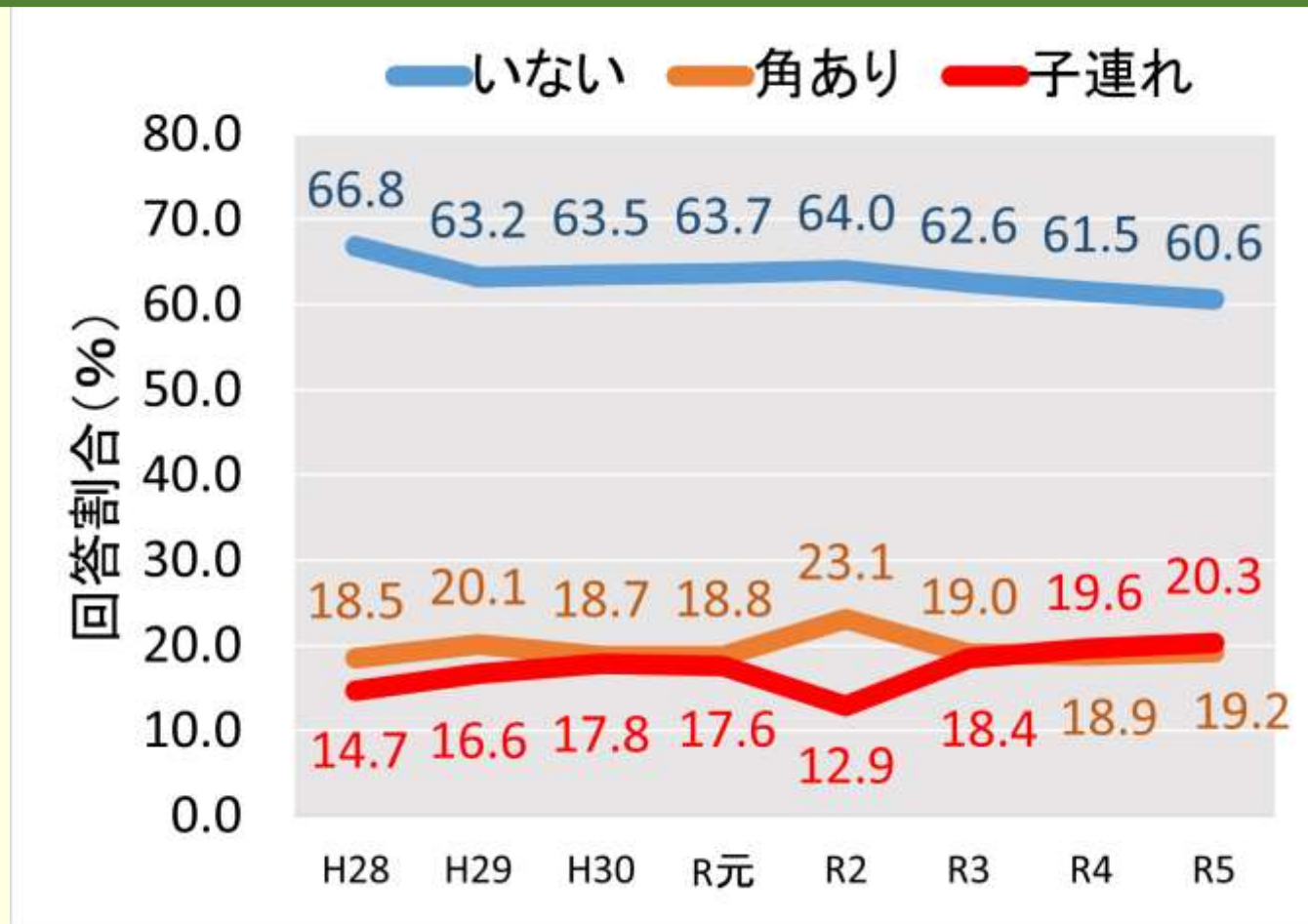
■ 子連れ

■ 角あり

■ いない

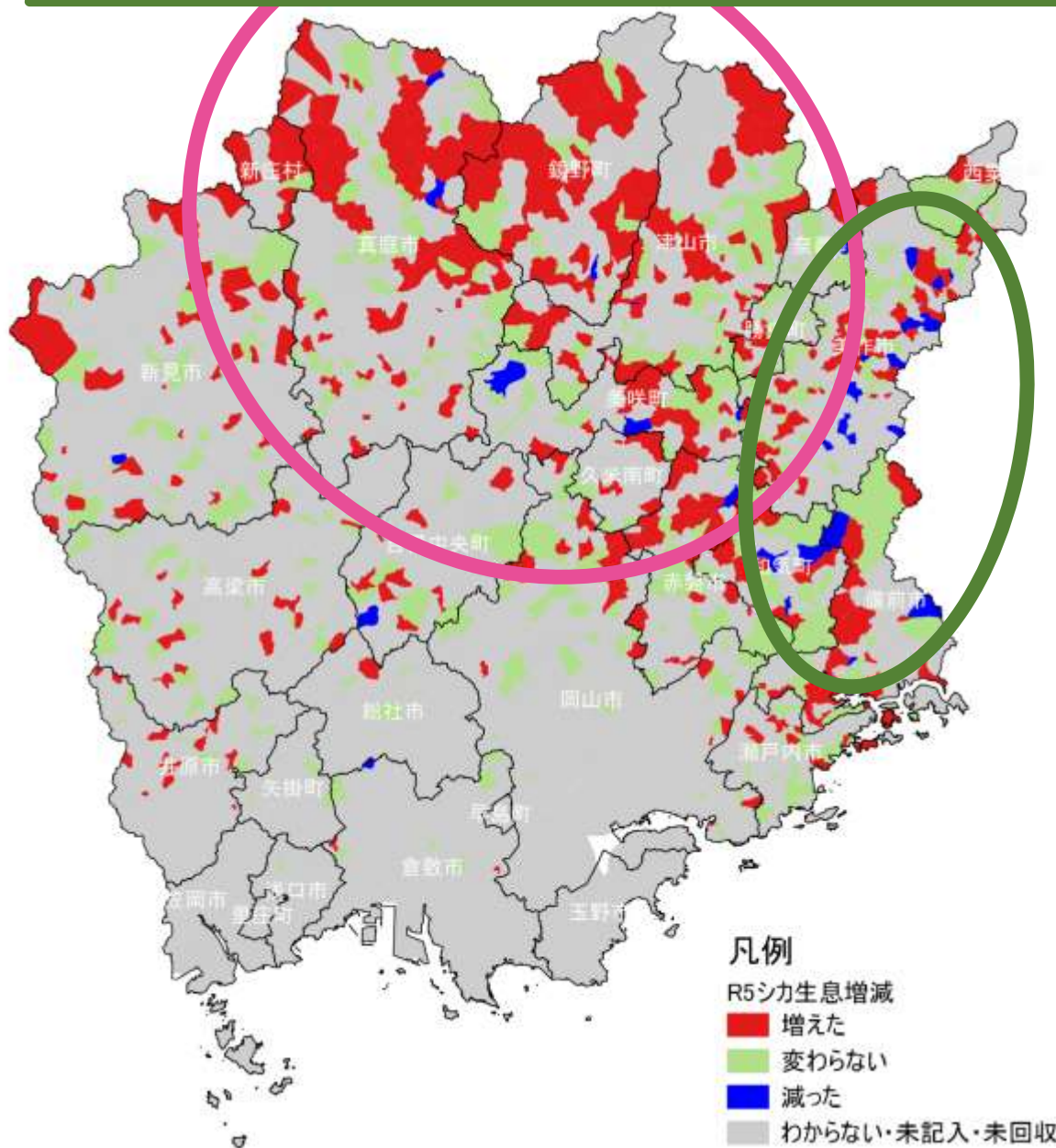
■ 未記入・未回収

シカの生息状況 年推移



生息回答の割合は、ほぼ横ばい
R4同様、「子連れ」>「角あり」となった。

シカの生息状況の増減



個体数増減

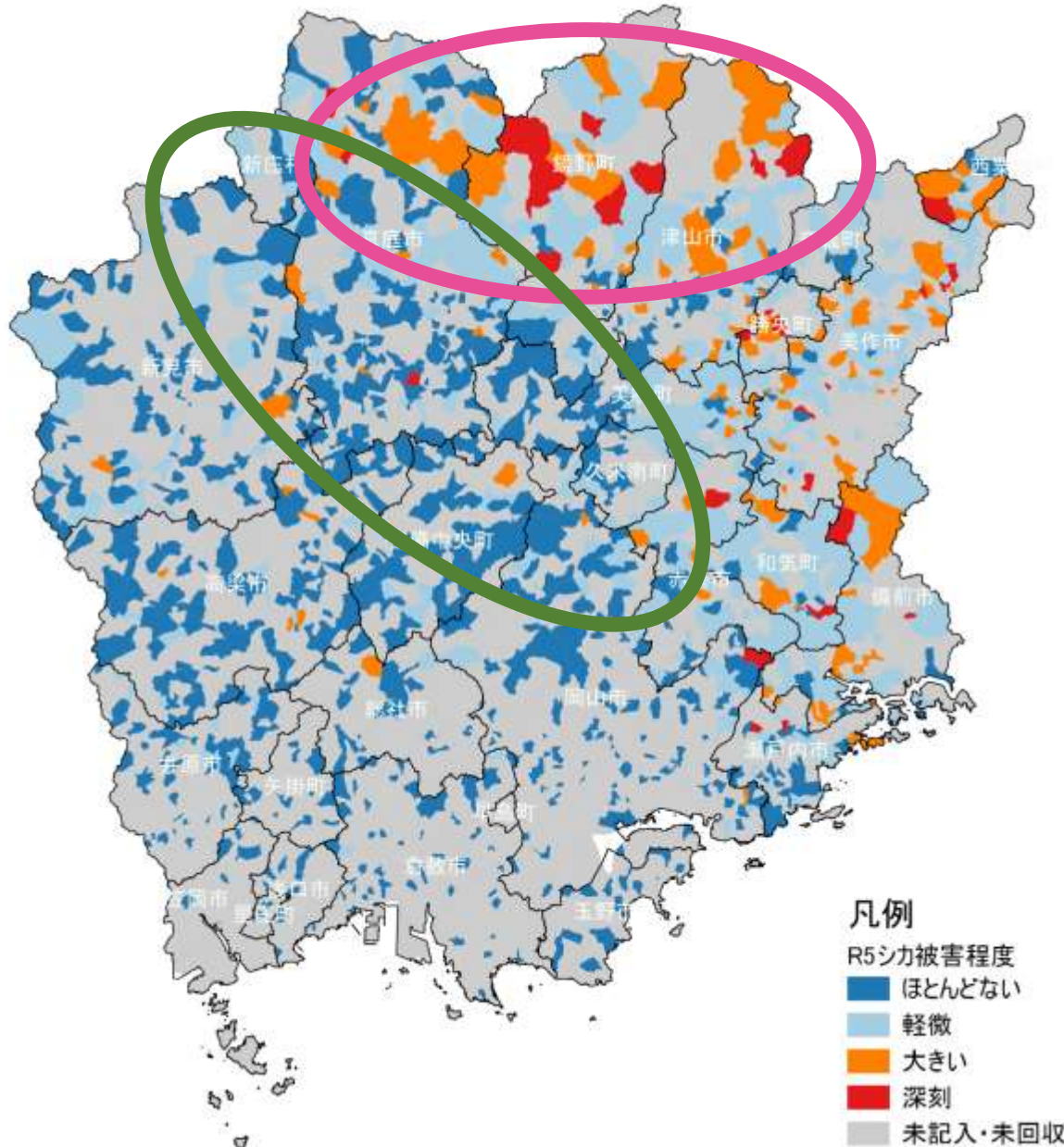
減少

県東部の一部

増加

県北部

シカの被害レベル



定着集落で甚大化
鏡野町～津山市
は面的に連続

侵入増加域で
被害はまだ少ない
集落がある

凡例

R5シカ被害程度

ほとんどない

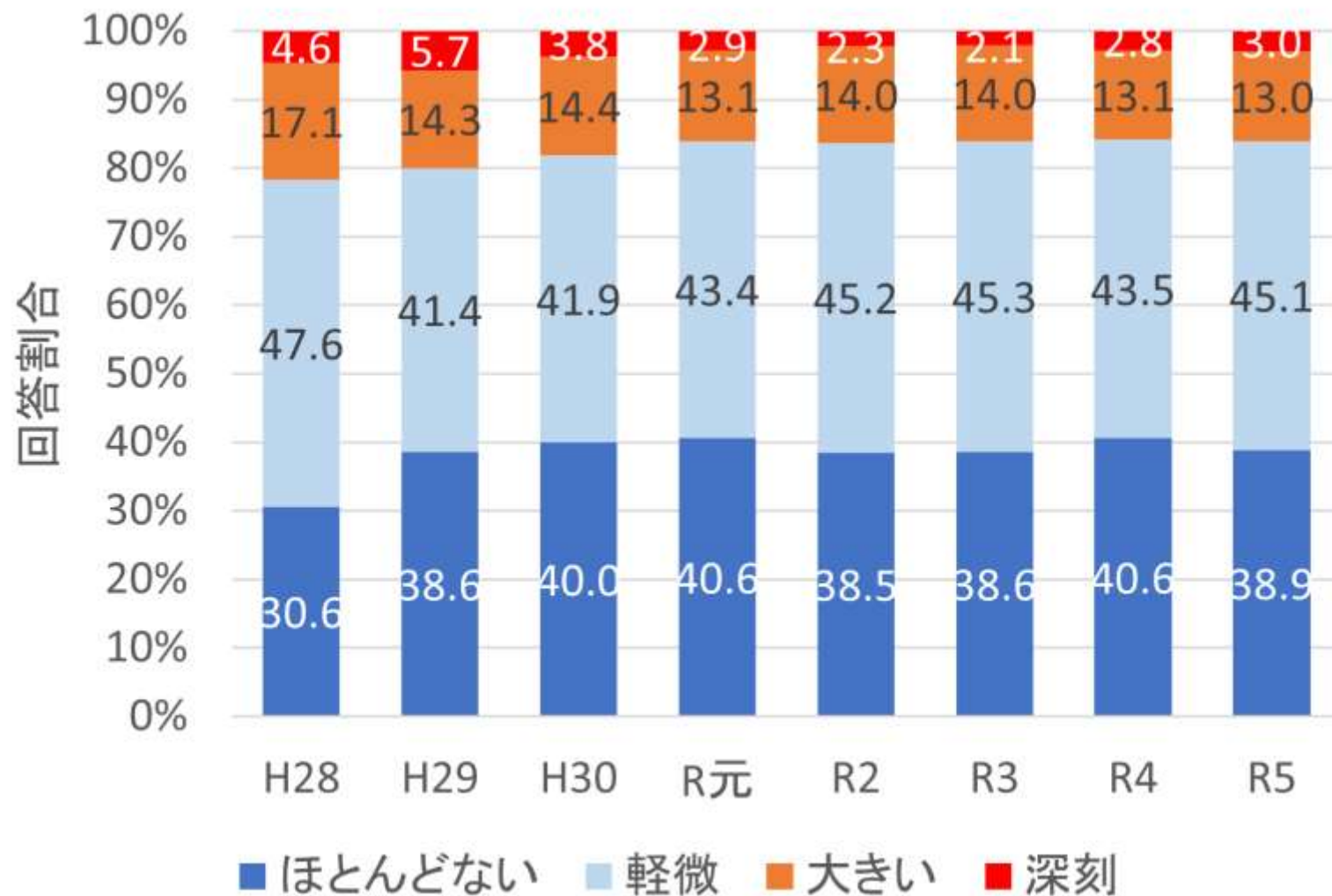
軽微

大きい

深刻

未記入・未回収

シカの被害レベル 年推移

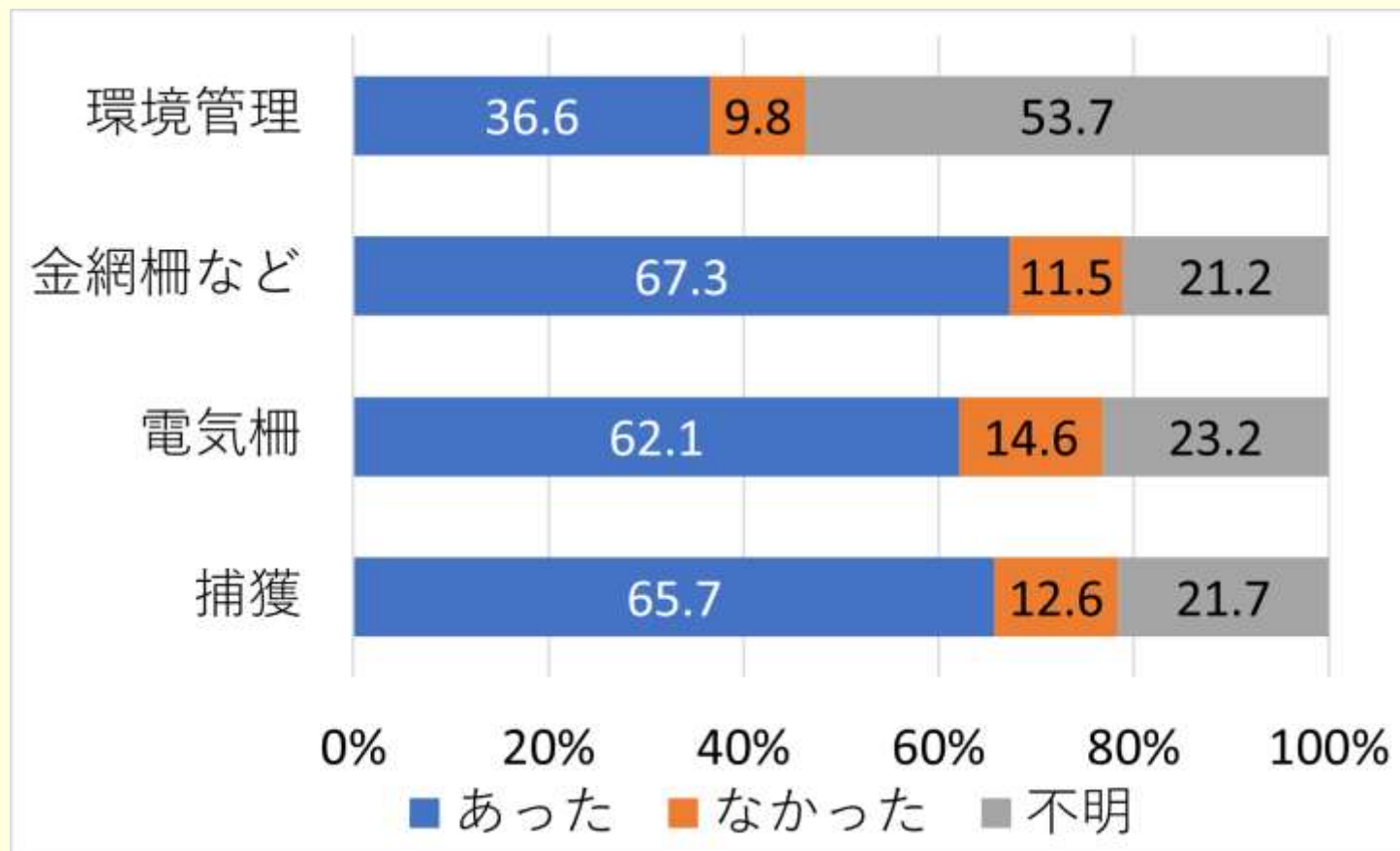


被害甚大化集落の割合 R元～横ばい

シカの対策効果



対策効果割合：繁殖定着している集落（「子連れ」の生息集落）において、対策効果に記載があった回答における効果が「あった」割合

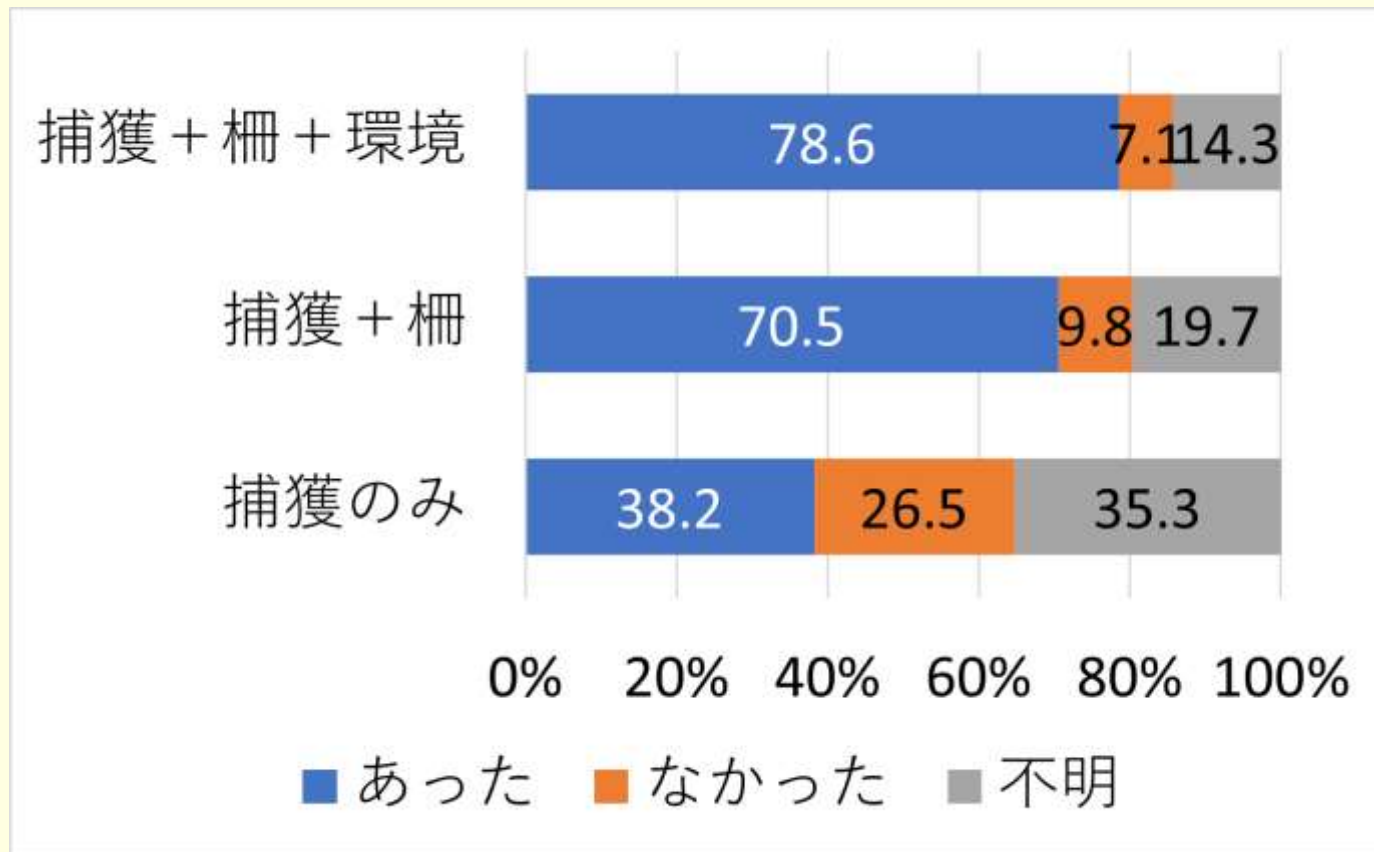


捕獲や防護柵（電気柵や金網柵など）の対策効果
6割強が有効回答

シカの対策 複合効果



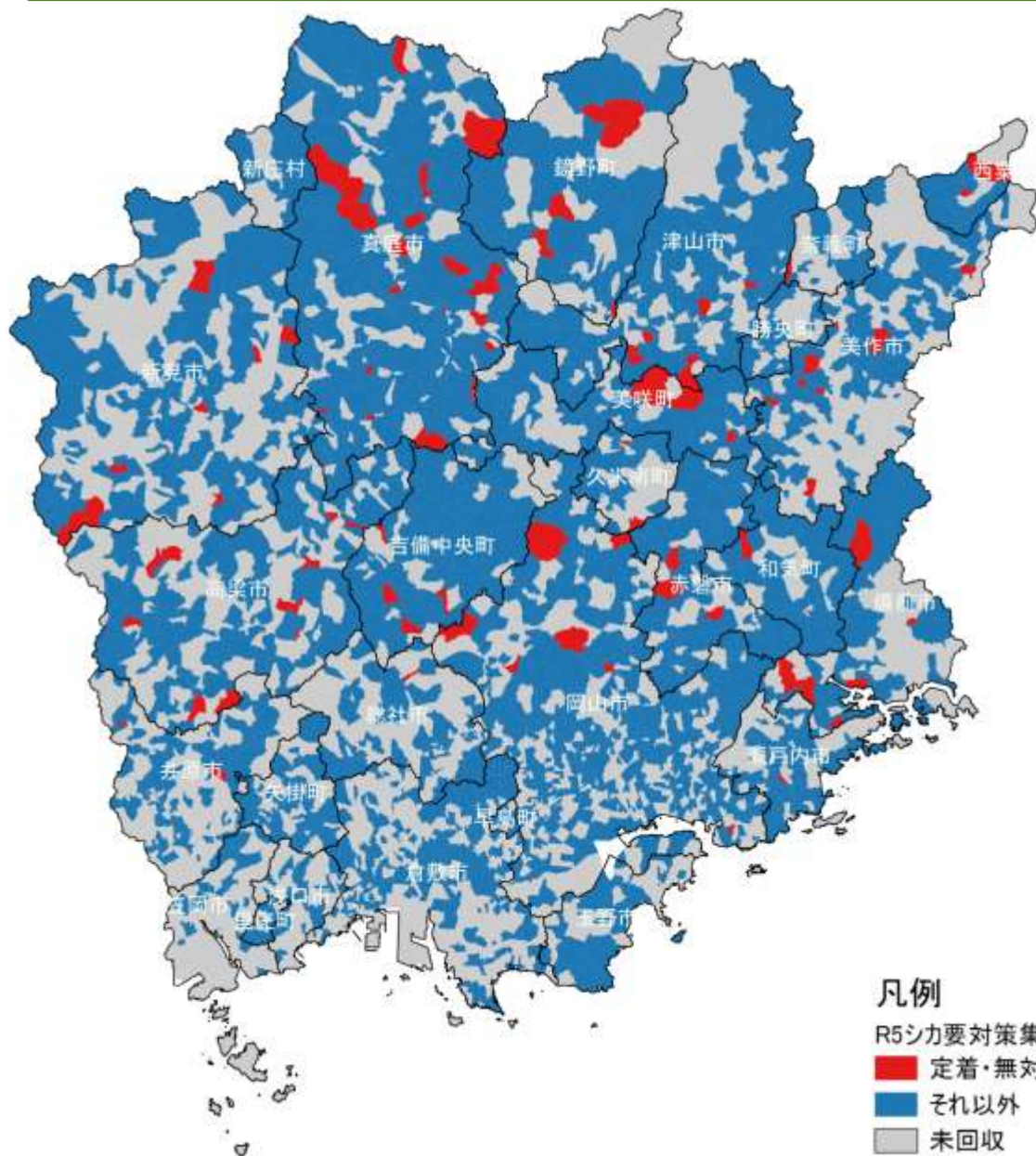
定着している集落のうち、捕獲を実施している集落で、防護柵（電気・金網）や耕作放棄地管理の実施状況別にみた捕獲効果が「あった」回答割合



捕獲単独より

防護柵と複合対策することで捕獲効果が高くなる

シカ要対策集落



定着し、
対策していない集落

県内に点在

凡例

R5シカ要対策集落

■ 定着・無対策

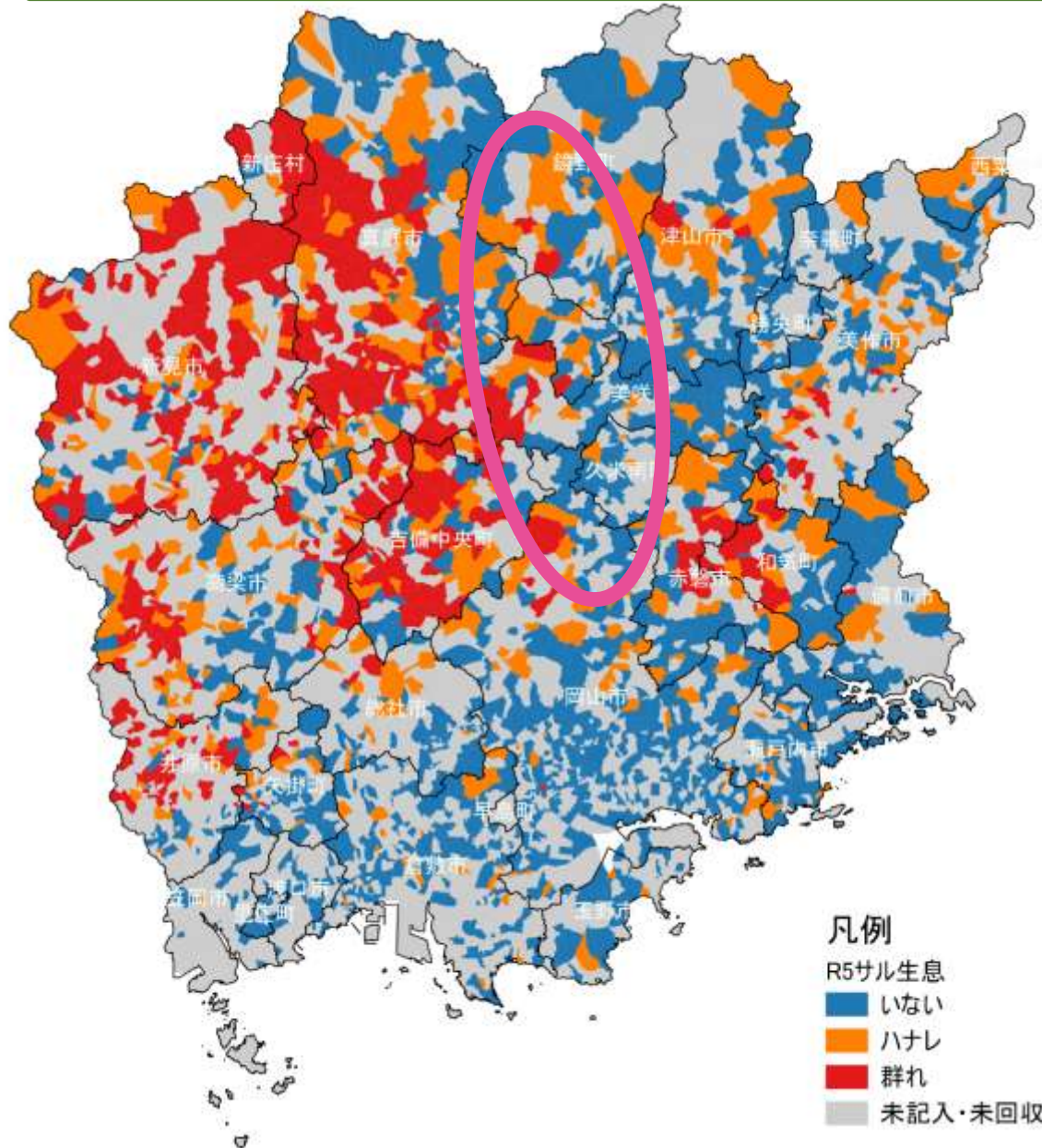
■ それ以外

■ 未回収

サル



サルの生息状況(R5年度)



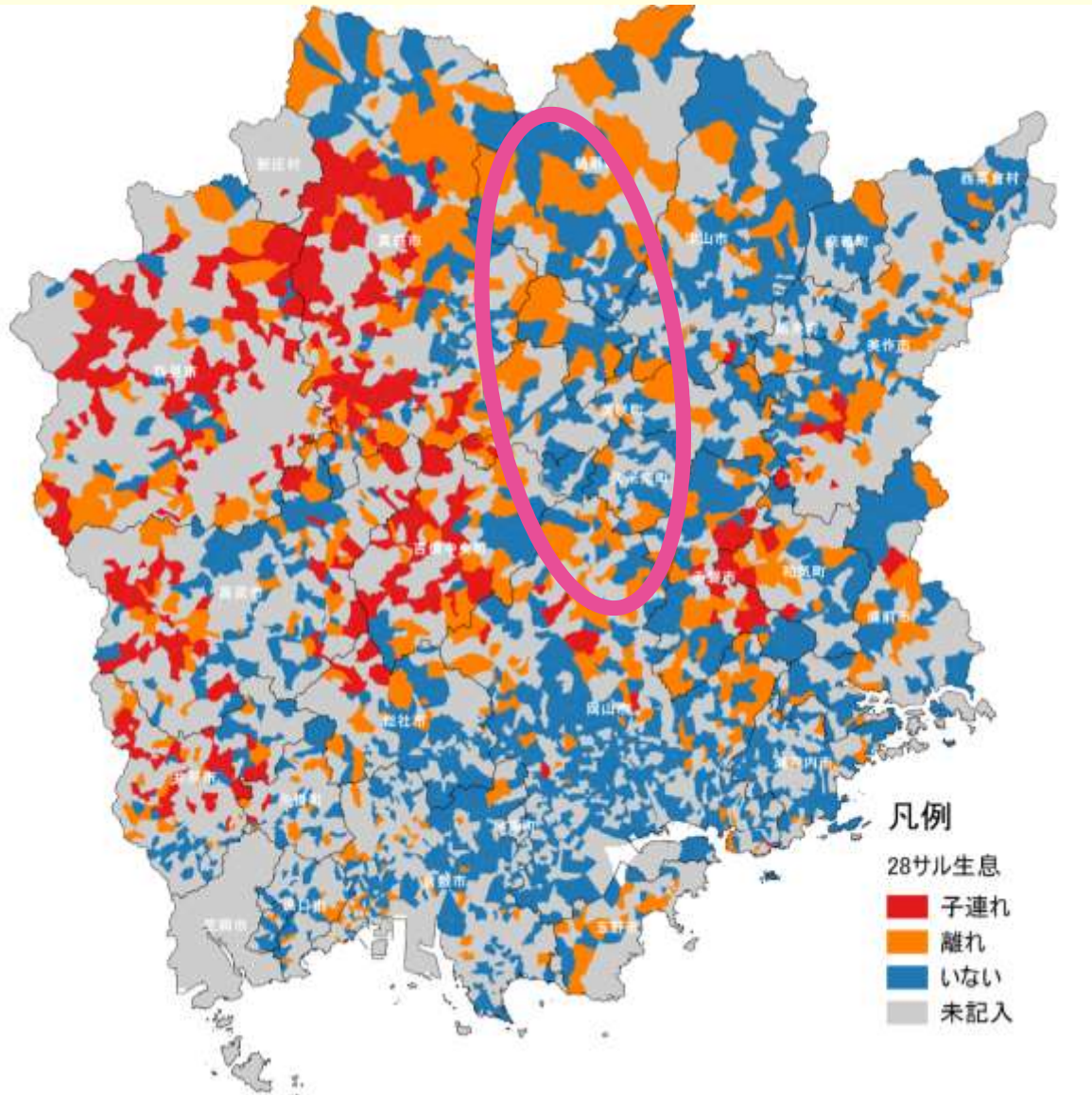
☑群れ分布

県西部

美咲町西部

赤磐市～
美作市南部

サルの生息状況(H28年度)

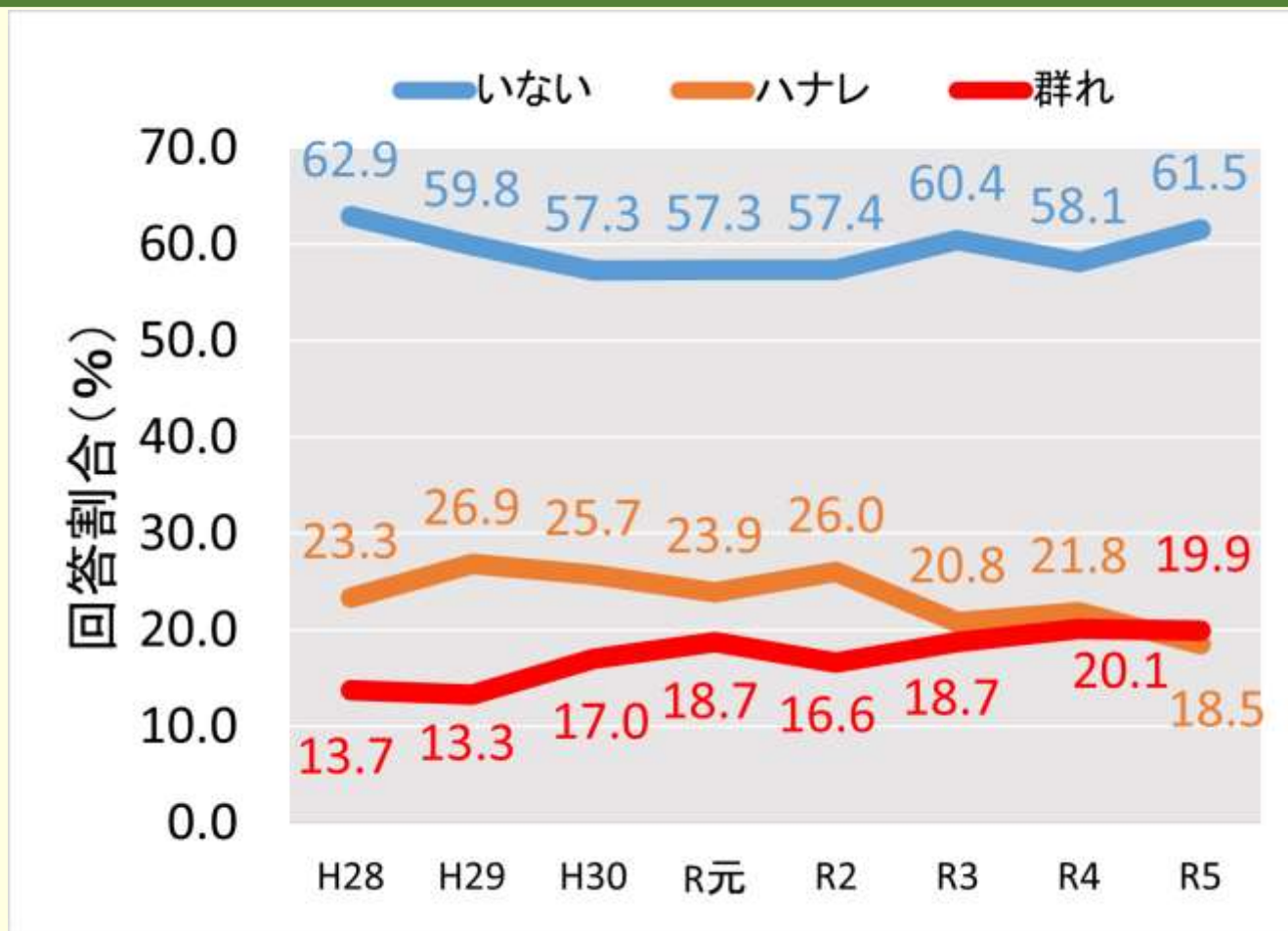


凡例

28サル生息

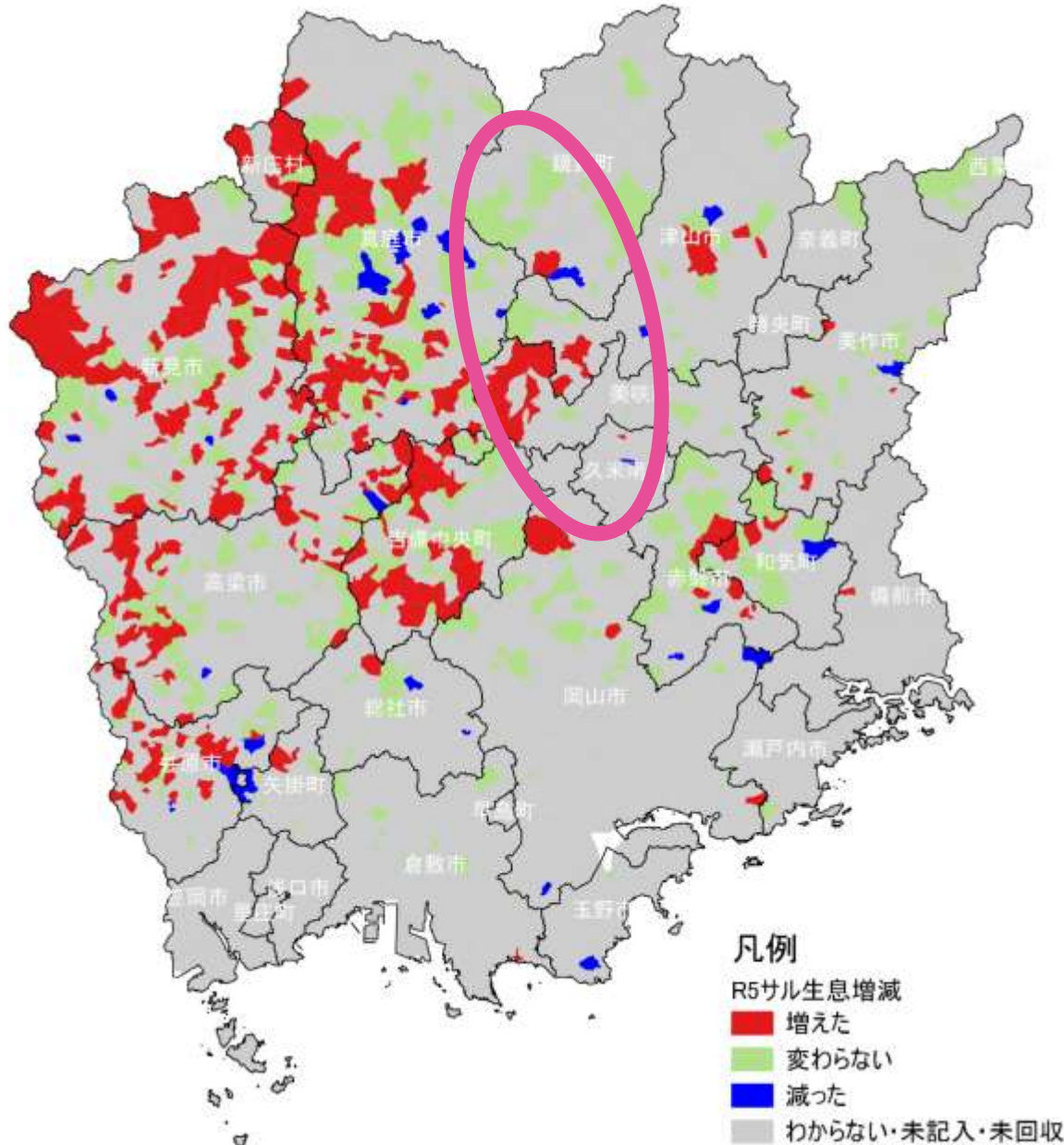
- 子連れ
- 離れ
- いない
- 未記入

サルの生息状況 年推移



回答件数ではじめて
「群れ」 > 「ハナレ」

サルの生息状況の増減

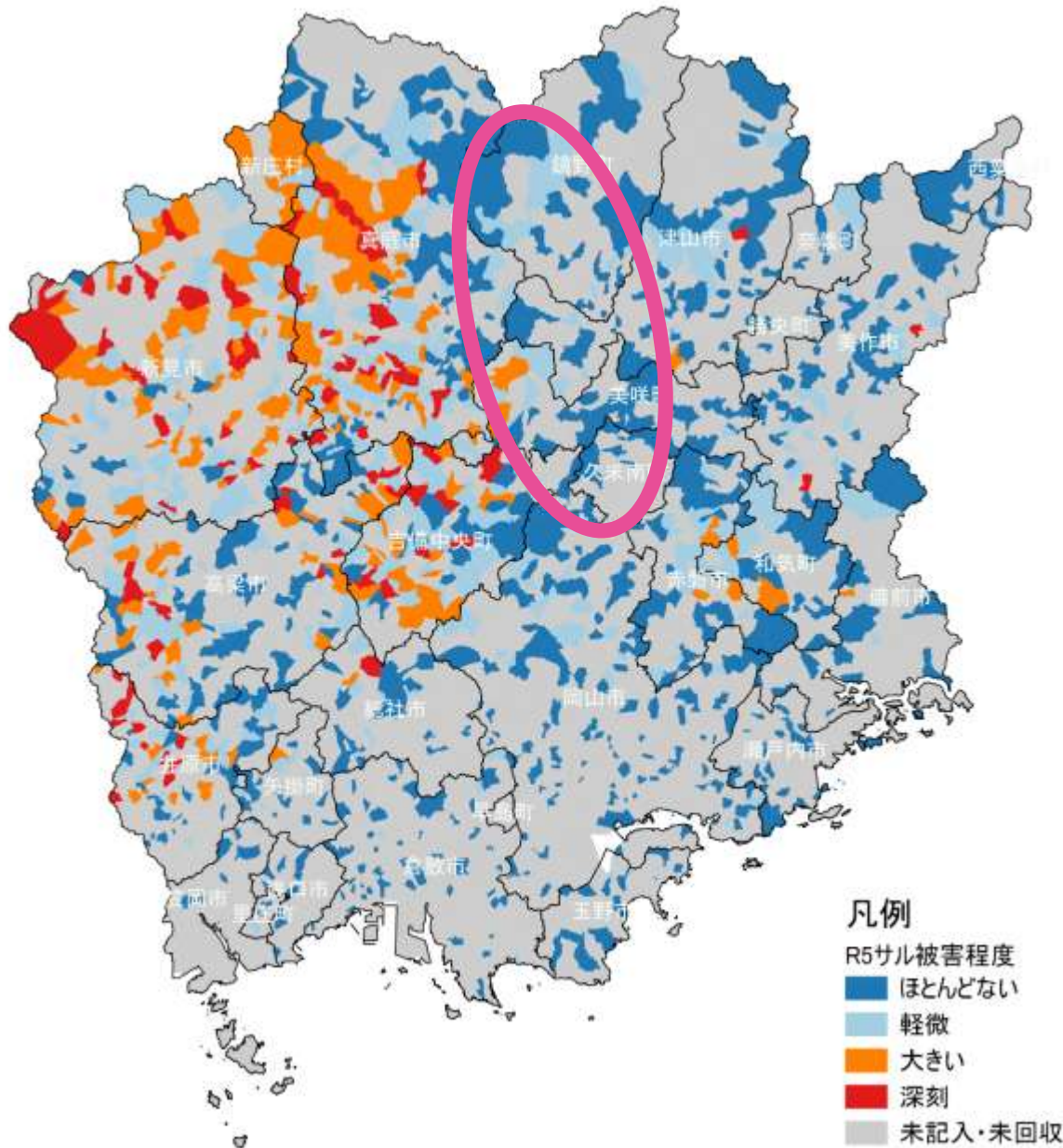


群れ定着地

増加回答が
ほとんど

群れ拡大域も

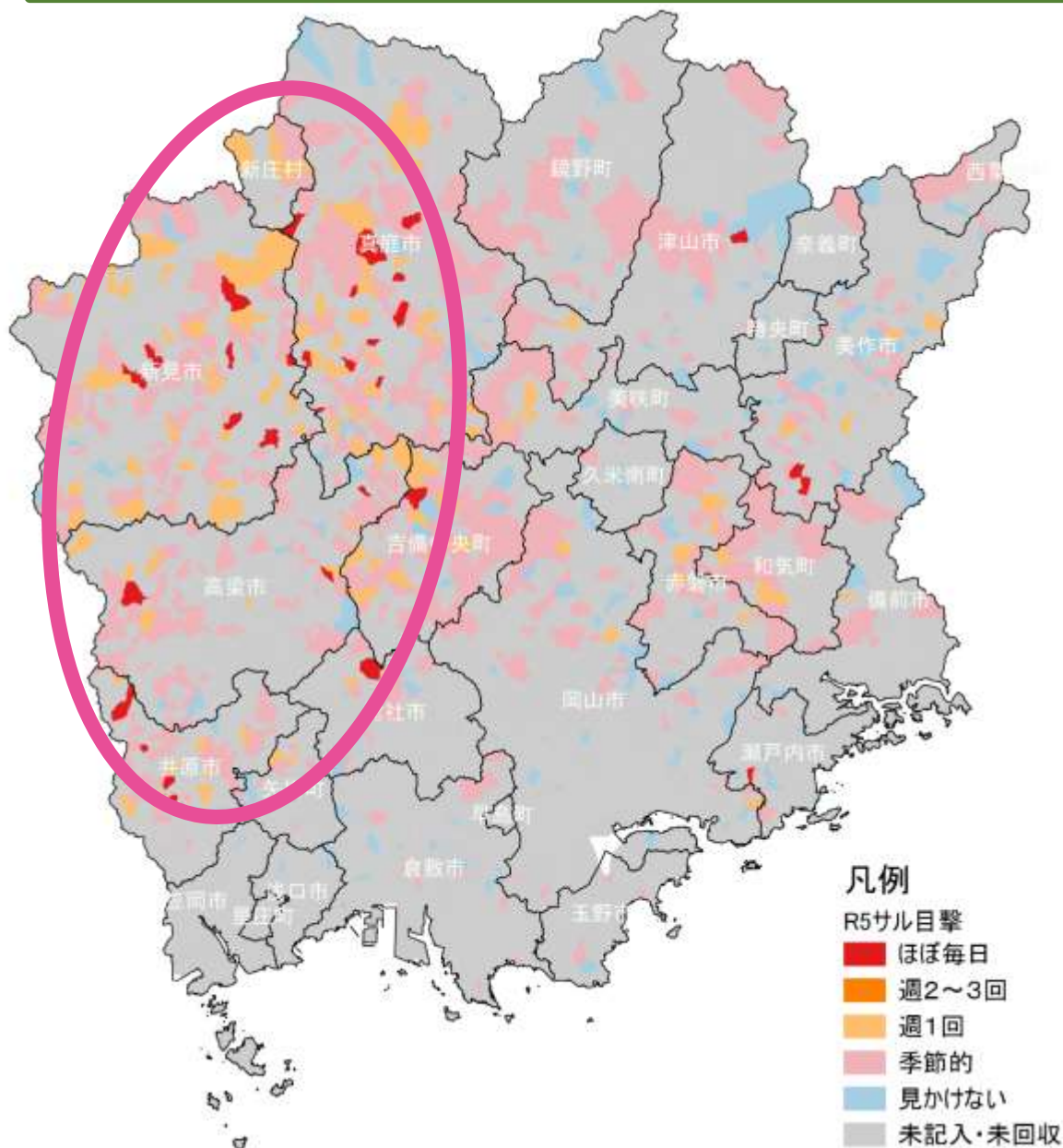
サルの被害レベル(R5年度)



群れにより
加害群度
の違い

特に
新見市、
真庭市西部、
吉備中央町、
高梁市西部など
被害が「深刻」

サルを目撃



群れによる差あり

「ほぼ毎日」

新見市

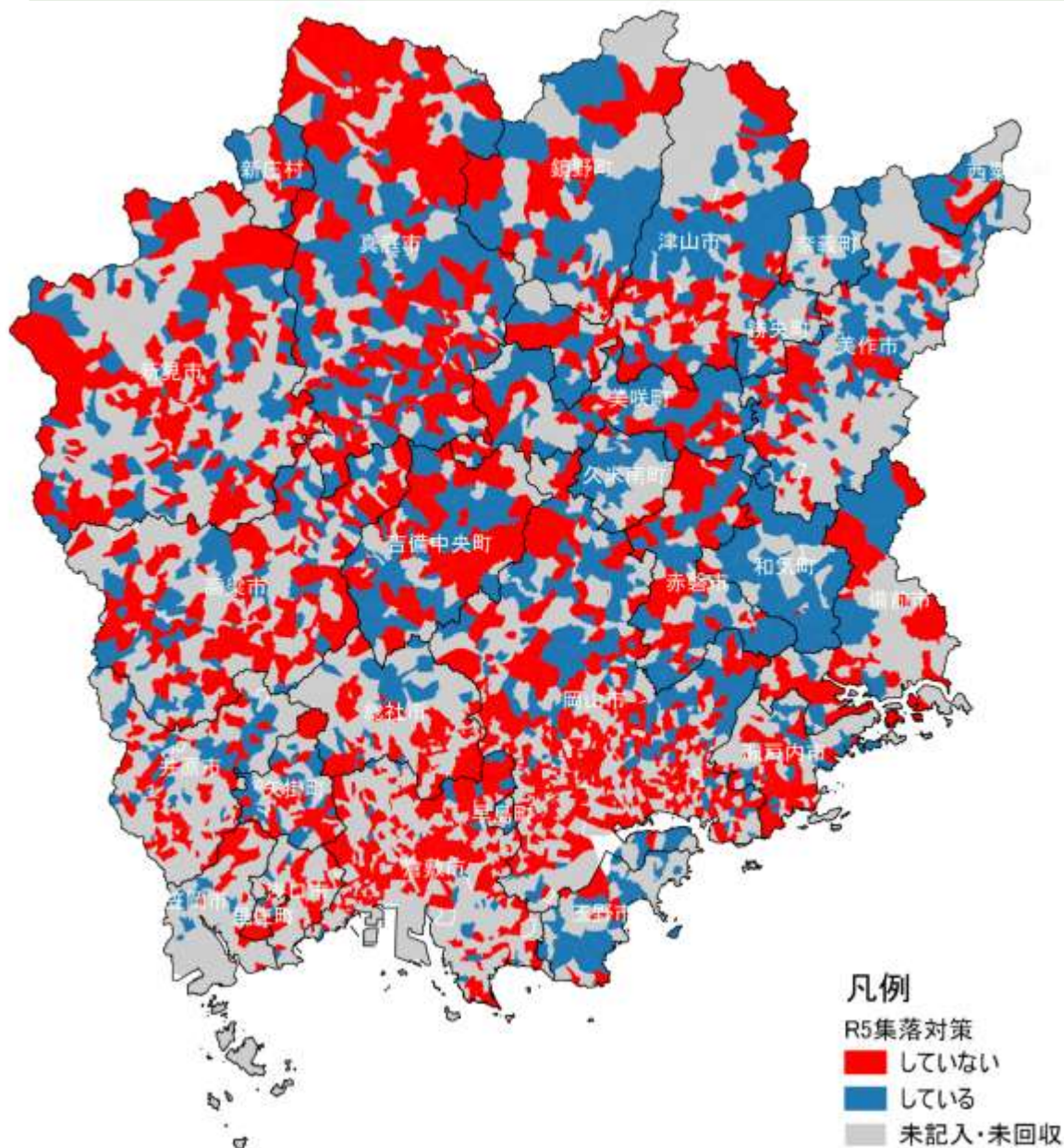
真庭市西部

～中央部

吉備中央町北部

高梁市西部

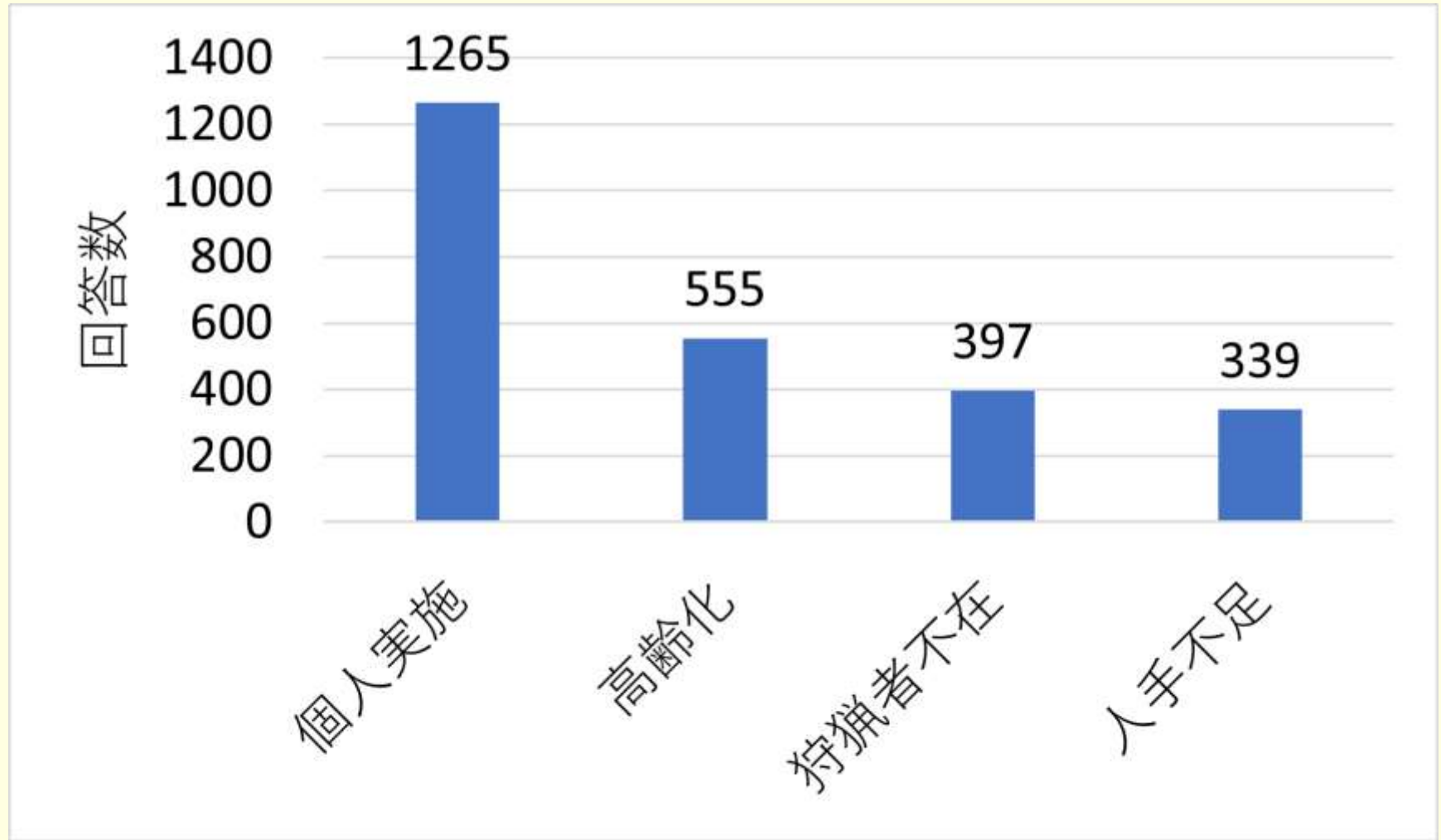
集落ぐるみの対策



集落ぐるみ
対策

34.8%で実施

集落ぐるみでの対策できない理由





□ モデル集落の選定による

集落ぐるみの対策促進

選定の際は、「要対策集落」を中心に。

□ 共助と公助の連携

- (1) 集落の合意形成による対策意識向上
- (2) 効果的な対策手法の研修・技術支援
- (3) 捕獲体制の再整備（集落主体の捕獲体制へ）